

移植・再生医療センター

1. スタッフ

センター長 移植外科 教授 河原崎秀雄
副センター長 輸血・細胞移植部 部長／教授
室井 和夫
消化器外科 教授 安田 是和
腎臓外科 教授 八木澤 隆
産科・婦人科 教授 柴原 浩章
血液科 教授 小澤 敬也
移植外科 准教授 水田 耕一
腎臓外科 講師 石川 暢夫
移植外科 助教 江上 聡
地域医療連携部 移植コーディネーター
五月女往子

2. 移植・再生医療センターの特徴

当院では、小児生体肝移植、腎移植、角膜移植、骨髄移植の臨床移植治療が行われている。また、自治医科大学の分子病態治療研究センターを中心とした基礎部門では、移植免疫、再生医学の世界的にも高いレベルの研究が日々行われている。移植・再生医療センターは、各教室の経験と技術を結集して、センターとして有機的かつ統合的組織を構築することによって、移植学全体の発展に大きく寄与することを目的として2006年11月に設立された。

移植医療に関わる既存の医学的・社会的問題点を解明することにより、移植医療を必要とする多くの患者さんの救命に貢献することを目標としている。

2008年11月29日には、移植・再生医療センター主催の講演会、“第1回栃木県の臓器移植医療を考える”が開催され、約80名の出席により、熱心な討議が行われた。

3. 診療実績

診療科・移植外科、腎臓外科、産科・婦人科、血液科、中央施設部門・輸血・細胞移植部参照

4. その他・来年度の目標等

地域医療連携による移植医療講演会、院内脳死下臓器提供シミュレーションなどを通じて市民や院内外の医療スタッフに移植医療をより身近に感じて頂けるように活動する。

移植をお考えの患者さんご家族の相談窓口となり、移植に関する情報を提供し、より質の高い継続した医療と看護を提供することを目指す。